

1 育成を目指す資質・能力

話すこと[やり取り]
ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

2 領域「話すこと [やり取り]」で貫く外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

話すこと[やり取り]
聞いたり読んだりしたことを共通の話題とし、やり取りを展開していく中で、お互いに意見を出し合ったり、情報の交換をしたりしながら、話題に関する理解を深め、意見をまとめたり、合意できる部分やできない部分を整理し、その理由を述べ合ったりする。

3 領域「話すこと [やり取り] ウ」における資質・能力の系統

	小学校第1学年 及び第2学年 外国語活動	小学校第3学年 及び第4学年 英語	小学校第5学年 及び第6学年 英語	中学校 外国語	高等学校 外国語
話すこと[やり取り]	サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。	サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりできるようにする。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して詳しく伝え合うことができるようにする。

4 単元目標・生徒の実態と指導観

<div>Program 2, "Good Night. Sleep Tight.", Sunshine English Course 3</div> <div>友達の意見等を踏まえた自分の考えをまとめるために、「日常生活が健康に与える影響」などの英文を聞いたり、読んだりして、それを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら述べ合うことができるようにする。</div>	<div>本学級のほとんどの生徒は、小学校1年生から外国語活動に取り組んでいる日章小・大湊小から入学している。（R4年度からは特認校となっている。）中学校への入学後も、小中の系統性を踏まえた指導を大切にしながら言語活動を行ってきた。特に「話すこと [やり取り]」においては、中学校1年生では、「テーマについて、即興で伝え合うこと」、「話を続けようとすること」に重点を置いて取り組んできた。2年生では、「事実や自分の考え、気持ちなどを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすること」について取り組み、質問する力や質問に答えたりする力を育成してきた。また3年生では、これまでに、自分の考えを理由とともに述べる力の育成に努めてきたが、やり取りをする中で、相手意識を持って相手の発話に応じたり、相手の発話に関連した質問をしたりする力に課題が見られるため、今後は、相手の発話に即座に応じる力やそれに関連した質問や意見を述べる力を育成していきたい。</div> <div>本単元では、社会的な話題についての英文を聞いたり読んだりし、それに対する自分の考えや感じたことを述べ合う活動を通して、お互いに質問したり、考えや感想、理由などを交換する力を育成することを目標としている。単元の前半は、「睡眠が生活に与える影響」というテーマで書かれた教科書の対話や記事を活用し、後半は、共通の話題となる英文を興味深いものとするために、A L Tに「日常生活の悩みについてアドバイスする」という目的・場面・状況を設定した。それらを活用して、生徒がお互いに質問し合い、応答し合いながら、ペアやグループ等において多様な考え方や立場を共有する活動を行いたい。そして、単元全体を通して「日常生活が健康に及ぼす影響」という広い見方で考えることにより、生徒自身が自らの日常生活全体を振り返りながらアドバイスできるようにしたい。指導にあたっては、意見を形成する段階で、生徒が発話した語句や文を取り上げてリキャストして例示したり、相手により詳しい説明を求める表現を考える場面を設けたり、引用表現など、相手に分かりやすく伝えるための表現に気づかせたりしながら、生徒の実態に応じてスモールステップで、生徒の考えを生かしていきたい。また、ルーブリックの観点を単元途中でも示すことで、生徒自身が、できている部分とそうでない部分に気づいたり、やり取りしている姿を動画で撮影してクラウドに保存し、必要な時に見られるようにすることで、他者の良い点を自分の発話に生かしたり、今までの学びや成長を実感できるようにしたい。</div> <div>これまでに生徒たちは、2年時に現在完了形を、3年ではask/tell/want 人 to ～、It is ～ for 人 to ～、I’ m glad/afraid/sure/surprised that ～、[主語＋動詞＋目的語＋補語]の第5文型「～を…（の状態）にする」や、使役動詞[主語＋動詞＋目的語＋動詞の原形]「～が…するのを許す、～に…させてやる/させる、～が…するのを手伝う」などの表現を学習している。本単元で学習する「動詞+疑問詞節」「tell+人+疑問詞節」は、知っていることや知らないことを述べる場面やA L Tに関してたずねる場面で、「tell+人+that 節」は、身近な人が述べたことを引用したり、日頃述べていることに言及したりする場面で使わせたい。そうすることで、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に合わせて、これまで学習した中から適切な言語材料を活用し、思考・判断して情報を整理するとともに、他の人と意見を述べ合いながら自分の考えなどを形成、再構築する力を養いたい。</div>
---	--

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと〔やり取り〕	[知識] ・「主語＋動詞（＋人）＋疑問詞節」や「tell/show ＋人＋that～」の特徴やきまり、引用するための表現を理解している。 [技能] ・日常生活が健康に与える影響などについて考えたことや感じたことなどを、本単元の新出表現や既習の表現などを用いて伝え合う技能を身に付けている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えをまとめるために、日常生活が健康に与える影響などの英文を聞いたり、読んだりして、それを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら述べ合っている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えをまとめるために、日常生活が健康に与える影響などの英文を聞いたり、読んだりして、それを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら述べ合おうとしている。

6 単元計画

	言語活動	学習内容 ■単位時間内のめあて	評価規準 形…形成的評価 目指したい生徒のゴールの姿	見方・考え方を働かせている 生徒の姿 引き出したい振り返りの具体
1	「How much sleep we need」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。	◆ 動画を見て、本単元の見通しを持つ ■ 「How much sleep we need」(教科書 P22)について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う ①Small talk (絵を見て感じたことについて述べ合う) ②Reading (教科書の対話文を読む) 〔睡眠と健康の関係・日本人の睡眠時間・必要な睡眠時間〕 ③Speaking1 (読み取れた内容や感じたことなどをペアで述べ合う) ④Learning (対話文で使われている未知の語や「動詞＋疑問詞節」の構造と意味を理解する) ⑤Speaking2 (読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどを別のペアで述べ合う) ⑥Sharing (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ) ⑦Speaking3 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う【録音】) ○振り返り	1時間目から9時間目まで記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないように十分留意する。 形対話文について読み取れた内容や疑問点、自分の考えなどを述べ合っている。 A: <u>Do you remember what Ken said?</u> B: He said that he slept only four hours last night. A: What do you think? B: I think four hours is too short. A: How many hours do you sleep? B: I sleep six hours. How about you? A: I sleep seven hours. Is six hours enough? B: No. I need more but many doctors say we need six hours, right?	・伝えたい内容について適切な言語材料を使って表現しようとしている。 ・ALTの悩みにアドバイスできるようにしたい。 ・「Do you remember 疑問詞節？」を使ってたずね合うことができた。 ・対話文の内容について、自分の考えを伝えたり、相手の考えをたずねたりすることができた。
2	「How much sleep we need」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。	○ 前時の振り返りより ・どんな点に気を付けて会話をすればよいのか確認する(録音活用) ■ 「How much sleep we need」(教科書 P22)について再度読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。 ①Review (「動詞＋疑問詞節」を含む対話文を聞いたり、読んだりして、構造と意味を再確認する) ②Reading (教科書の対話文を読む) ③Speaking1 (各国の平均睡眠時間を示したグラフを見て読み取れたことや感じたことなどをペアで述べ合う) ③Sharing (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ) ④Speaking2 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う) ⑤Writing (ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。クラウドを活用して他者の書いている内容を参考にしながら書く) ○振り返り	形対話文やグラフが表している内容や疑問点、自分の考えなどを述べ合っている。 A: <u>Do you remember how many hours Ken slept last night?</u> B: Four hours. Do you remember how many hours we need? A: We need six hours. B: According to the graph, Japanese people sleep the shortest. A: Yes. I know. The people in South Africa and China sleep longer. Nine hours. B: Yes! I can't sleep as long as them. Why can they sleep long? A: I don't know. How long does Dec-sensei sleep? Let's ask him.	・伝えたい内容について適切な言語材料を使って表現しようとしている。 ・「According to 〜」を使ってグラフから分かることを言うことができた。 ・対話文の内容について、自分の考えを伝えたり、相手の考えをたずねたりすることができた。
3	「Quality of a sleep」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。	○ 前時の振り返りより ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する ■ 「Quality of a sleep」(教科書 P23)について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。 ①Review (「動詞＋疑問詞節」を含む対話文を聞いたり、読んだりして、構造と意味を再確認する) ②Small talk (絵を見て感じたことについて述べ合う) ③Reading (教科書の対話文を読む) 〔睡眠と健康の関係・良い睡眠とは？・入浴と睡眠の関係〕 ④Speaking1 (読み取れた内容や感じたことなどをペアで述べ合う) ⑤Learning (対話文で使われている未知の語や「tell+人+疑問詞節」の構造と意味を理解する) ⑥～⑧は第1時の⑤～⑦と同じ ○振り返り	形対話文について読み取れた内容や疑問点、自分の考えなどを述べ合っている。 A: <u>Can you tell me how long you sleep every day?</u> B: I sleep about seven hours. A: Do you think you still feel tired? B: Yes. Every day! A: You need a good sleep. B: Can you tell me what I should do? A: OK. Ms. Miller told us when we should take a bath. B: Right. We should take a bath 90 minutes before going to bed, right? A: When do you take a bath every day? B: Umm... Before dinner. I want to take a bath right after going back home.	・伝えたい内容について適切な言語材料を使って表現しようとしている。 ・疑問詞＋主語＋動詞を含む文を使って、質問したり、答えたりすることができた。 ・対話文の内容について、自分の考えを伝えたり、相手の考えをたずねたりすることができた。
4	「A good habit for a good sleep」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。	○ 前時の振り返りより ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する(録音活用) ■ 「A good habit for a good sleep」(教科書 P24)について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。 ①Review (「tell+人+疑問詞節」を含む対話文を聞いたり、読んだりして、構造と意味を再確認する) ②Small talk (絵や写真を見て感じたことを述べ合う) ③Reading (教科書の対話文を読む) 〔スマートフォンの使用時間・睡眠に与える影響・会社の取組〕 ④Speaking1 (読み取れた内容や感じたことなどをペアで述べ合う) ⑤Learning (対話文で使われている未知の語や「tell+人+that 節」の構造と意味を理解する) ⑥Speaking2 (読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどを別のペアで述べ合う) ⑦Sharing (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ) ⑧Writing (ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。クラウドを活用して他者の書いている内容を参考にしながら書く) ○振り返り	形記事について読み取れた内容や疑問点、自分の考えなどを述べ合っている。 A: Do you remember what the article says? B: Yes. We should not use our smartphones for a long time before going to bed. A: Do you remember why? B: No, I don't. Do you? A: The article told us that if we look at the bright screen at night, our brain will believe it is daytime. B: Right! That's a bad habit. Do you use your smartphone before going to bed? A: Yes. B: How long? A: About 30 minutes. How about you? B: I just check the mail. So 5 minutes. A: That's good.	・伝えたい内容について適切な言語材料を使って表現しようとしている。 ・「～told us that 節」を使って、人が話したことを言うことができた。 ・記事の内容について、自分の考えを伝えたり、相手の考えをたずねたりすると、会話が続くと思う。 ・引用する表現を使うと、わかりやすく伝わったと思った。
5	「生活を楽しむことについての悩み」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。	○ 前時の振り返りより ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する ■あるALTの「生活を楽しむことについての悩み」についてのビデオレターを聞き、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。(動画をクラウド上に保存⇒生徒自身のタイミングで視聴) ①Listening (ビデオレターを視聴する) ②Thinking (Reading)(メモし、クラウドで共有する) ③Speaking1 (内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで述べ合う【録音】) ④Sharing 1 (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ) ⑤Speaking 2 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う【録音】) ⑥Sharing 2 (録音した発話から学び、学びを共有する) ⑦Speaking 3 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う) ○振り返り	形聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。 A: <u>Emiko told us about her hobbies, right?</u> B: Yes. Do you remember what hobbies she has? A: Yes. She told us that she enjoys singing and playing volleyball. B: What problem does she have? A: She wants to make friends but she hurt her foot, so she can't play any sports. B: Right. Let's think about some advice. A: How about making sweet? B: Why did you think so? A: I have joined the cooking class before. It was so fun. B: I see. There is information about her.	・相手に意見をたずねたり、疑問点を確認したりしている。 ・引用表現を使って、デック先生の友人が言っていたことを言えた。 ・デック先生の友人の困っていることを友達にたずねることができた。 ・理由をたずねることができた。 ・理由も含めて自分の考えを言うことができた。 ・自分の体験を言うことができた。

6 (本時)	「生活リズムについての悩み」について読み、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。	<p>○ 前時の振り返りより</p> <ul style="list-style-type: none">どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する（録音活用）ある ALT の「生活リズムについての悩み」 についてのビデオレターを聞き、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。（動画をクラウド上に保存⇒生徒自身のタイミングで視聴） <p>①Listening（ビデオレターを視聴する）</p> <p>②Thinking(Reading)（メモし、クラウドで共有する）</p> <p>③Speaking1（内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで述べ合う【録音】）</p> <p>④Sharing（再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ）</p> <p>⑤Speaking 2（再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う【録音】）</p> <p>⑥Writing（ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。クラウドを活用して他者の書いている内容を参考にしながら書く）</p> <p>○振り返り</p>	<p>形聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。</p> <p>A: Let’s share what his problem is. B: Arthur told us that he can’t go to sleep early. Do you have any advice? A: We learned that sleep is very important for our health, right? B: Yes. What time does he go to bed? A: According to his daily life sheet, he goes to bed at 1. But we need to sleep at least 6 hours a day, right? He doesn’t sleep enough. B: Yes, I think so too. It’s too short. What time does he take a bath? A: According to the graph, at 12 but the textbook said that we should take a bath 90 minutes before going to bed, right? B: Yes. A: Also my mother always tells me that it is not good to use smartphones just before going to bed. I can go to sleep early because I don’t use my smartphone before aoina to bed.</p>			<p>・自分の考えを、理由を含めて述べている。</p> <p>・ALT の日常生活について触れることで、より伝わりやすいアドバイスができるようになった。</p> <p>・自分の経験や理由も含めて意見を言ったので、説得力のあるアドバイスになった。</p> <p>・ペアが According to を使って、色々な情報を引用しながら自分の考えを述べていて説得力があると思ったので、次は自分もそうしたい。</p>		
7	「日頃の身体の疲れ」について読み、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。	<p>○ 前時の振り返りより</p> <ul style="list-style-type: none">どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する（録音活用）ある ALT の「身体の痛みについての悩み」 についてのビデオレターを聞き、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。（動画をクラウド上に保存⇒生徒自身のタイミングで視聴） <p>①Listening（ビデオレターを視聴する）</p> <p>②Thinking（Reading)（メモし、クラウドで共有する）</p> <p>③Speaking 1（内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで述べ合う【録音】）</p> <p>④Sharing 1（再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ）</p> <p>⑤Speaking 2（再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う【録音】）</p> <p>⑥Sharing 2（録画した発話から学び、学びを共有する）</p> <p>⑦Speaking 3（再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う）</p> <p>○振り返り</p>	<p>形聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。</p> <p>A: Let’s share what problem Nichi has. B: OK. She has a pain in her back. She is very busy. She thinks it is better for her to stay home and relax at home. A: I don’t agree with her. Exercise makes us feel better. B: I agree. But what exercise can she do? A: I don’t know. But she can walk near her house every day. B: That’s right. Does she have a bike? A: I don’t know. Let’s look at her self-introduction. B: Yes, let’s. If she has one, she can enjoy cycling. I like cycling too. Do you think that she can go cycling in her town? A: I don’t know. But exercise can make her body healthy.</p>			<p>・ALT の情報を参考にして、さらに良いアドバイスを考えている。</p> <p>・相手の意見に賛成や反対の意見を言うことができた。</p> <p>・友達が話した内容に関連のある質問をすることができた。</p> <p>・ALT の情報を引用しながら、自分の体験や考えを加えて、相手が実行してみたいと思うようなアドバイスができた。</p>		
8	4 人の ALT から 1 人選んで、悩みへのアドバイスなどを述べ合う。 ↓ ALT に読んでもらうために、最終の自分の考えやアドバイスを書く。	<p>○ 前時の振り返りより</p> <ul style="list-style-type: none">どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する「ALT の悩み」 に関するビデオレターの内容について、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。（動画をクラウド上に保存⇒生徒自身のタイミングで視聴） <p>①Thinking(Reading)（ALT へのアドバイスのについてメモし、クラウドで共有する）</p> <p>②Listening（録音した会話を聞く）</p> <p>③Speaking（ビデオレターの内容を引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う）</p> <p>④Writing 1（自分の考えやアドバイスを書く）</p> <p>⑤Sharing（再構築の場面でわかりやすい英文にするための工夫や構成を学ぶ）</p> <p>⑥Writing 2（学んだことなどを基に、再度書く）</p> <p>○振り返り</p>	<p>形聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。</p> <p>A: Nichi said she has a pain in her back. B: Right. She also told us that she had been very busy. She thinks that it is good to stay and relax at home. What advice can we give her? B: I don’t agree with her. Exercise makes us feel better. What do you think? A: I agree. But what exercise can she do? B: I don’t know. But she can walk near her house every day. A: But when I walk, it takes 30 minutes. Does she have a bike? B: I have no idea. If she has one, she can enjoy cycling. A: I sometimes go cycling on weekends and it is fun. Are there any places to do something in her town? B: I don’t know. But any exercise can make her body healthy. A: Yes, I agree!</p>			<p>・他の人のアドバイスを参考にして様々な言い方を使って述べ合えている。</p> <p>・自分のアドバイスを読んで、ALT が実行してくれたら嬉しい。</p> <p>・「もし〜だったら」などと、相手のことを想像しながら、意見を言うことができた。</p> <p>・友達のアドバイスを参考にしながら相手の悩みへのアドバイスを書くことができた。</p>		
後日	パフォーマンステスト	初見の英文を聞いて（読んで）、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを ALT と述べ合う。	知技	思判表	態度			
			話すこと（やり取り）	話すこと（やり取り）	話すこと（やり取り）			

7 本時の指導（6／8時間）

- (1) 本時の目標
- 友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、「生活リズムについての悩み」 についてのビデオレターを視聴し、引用したり内容に言及したりしながら考えたこと感じたことなどを述べ合うことができる。
- (2) 本時の評価規準 (評価)
- 友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、「生活リズムについての悩み」 についてのビデオレターを視聴し、引用したり内容に言及したりしながら考えたこと感じたことなどを伝え合っている。 ※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。
- (3) 展開

	学習活動	指導上の留意事項 ●T 1 ○ALT
導入 6分	1 I-min Chat（3分） Today’s Topic: Morning Type or Night Type	●○自然に生徒同士が会話できるように JTE と ALT で会話をしながら導入する。 <div>JTE: Are you a morning type person or night type person? ALT: I’m a morning person because I get up at 6 every day. JTE: Really? Very early! What do you do? Don’t you feel sleepy? ALT: No. I usually study Japanese. It’s quiet and I like that. How about you? JTE: I’m a night type person. I can’t get up early. Please tell me how I can get up early. ALT: Well, just go to bed early. …</div>
	2 前時の振り返りから、めざす姿を再確認する（内容面・言語面）（3分）	●ICT を活用し、前時の振り返りから内容面・言語面でフォーカスしたいところに注目させる。 <div><予想される前時の生徒の振り返り> ・引用表現を使って、デック先生の友人が言っていたことを言えた。〈引用表現〉 ・デック先生の友人の困っていることを友達にたずねることができた。〈やり取り〉 ・理由をたずねることができた。〈やり取り〉 ・理由も含めて自分の考えを言うことができた。〈理由・根拠〉 ・自分の体験を言うことができた。〈体験〉</div>
展開 40分	3 Small Talk by ALT（4分） ・ALT の悩みと、悩みを持つ友人について聞く。	○問題提起をする。 <div>JTE : Dec-sensei, you have been in Japan for two years, right? Did you have any troubles before? ALT : Well, when I came to Japan for the first time, I was … . But one of my Japanese friends told me that … .</div>
	・ペアで ALT が話したことについて確認し合う。	●ALT の話した概要のみ確認する。 ・ALT 自身の困っていたこと ・ALT のお願い
	★ めあてを確認する（1分）	●前時の振り返りからめあてを確認するとともに、再度、前時の振り返りから目指す姿を確認する。 <div>悩んでいるデック先生の友人にアドバイスをするために、友達と意見交換をしよう。</div>
	4 今日の課題（言語活動） ○ALT の友人のビデオレターを視聴し自分の考えを伝え合う。	○生徒に自然に話しかけながらビデオレターを導入する。
	(1)Activity 1 Listening（5分） ・ペアで ALT が話したことについて確認し合う。 ・友人のビデオレターを視聴する。	<div>What's his problem? What do you think about his opinion? Please listen to him.</div> <div>Hi, Konan JHS students. I am …… . Dec and I have been good friends since last summer in Nankoku. I have a problem. Please listen to me. ……(problem)…… If you don’t mind, please tell me your opinions and some advice. Thank you for listening.</div>
		○ALT が生徒に指示を出す。 <div>ALT: What's his problem? What did he think about that? And what do you think about his opinion? Now, please share two things; his problem and his opinion. Please share them in pairs. If you want to know something about him, please share about them too.</div>
	・ペアで友人のビデオレターの内容について確認し合う。 ・分かったことを全体で共有する。	●○支援の必要な生徒には、机間指導の中で支援をし、悩みをシェアさせる。 ●ビデオレターの概要と要点について全体でシェアする。 ・誰が ・場所 ・いつ ・依頼内容 ○キーワードを板書する。
	(2)Activity 2 Thinking（5分） (& Reading)	●生徒の様子を見ながら指示を出す。 ●○活動のイメージを持たせるため、質問の例を挙げ、応答例を見せる。 <div>ALT: You know his problem. And you know his opinion too. Now what do you think about his opinion? Please have your own idea about his opinion and think about some advice for him. And then later share your ideas in pairs. If you have any questions about him, you can look at his information. You may understand his situation or his daily life.</div>
	・自分の意見や疑問点を準備する。 ・必要に応じてスクリプトを黙読したり、ロイロノートにメモしたりする。	●内容引用に活用するために、以下のものは事前にクラウドにあげ、生徒が必要に応じて活用できるようにしておく。①友人のビデオレターのスクリプト、②メモ用のカード、③友人の情報 ●「やりとりを続けるためのヒント集」をプリントにして、生徒が必要に応じて活用できるようにしておく。
	(3)Activity 3 Speaking 1（3分）	○ペアで考えを伝え合うように指示を出す。 <div>Now let's share your ideas and some advice for him in pairs.</div>
	・ペアで思ったことや感じたこと、疑問点を伝え合う。（必要に応じてメモする）	●○支援の必要な生徒には、机間支援の中で、早めに支援をする。
	中間指導 1 Sharing 1（5分） ○代表ペアの生徒が発表をする。	●代表のペアの生徒に会話してもらうよう、依頼する。

		<p>A: Arthur can't go to sleep early. B: Sleep is very important for our health. A: Yes. What time does he go to bed? B: Let's look at his daily life. Umm… He goes to bed at 1. How many hours do we need to sleep? A: At least six hours a day, right? B: Right. How many hours does he sleep? A: 5 hours. It's too short. What time does he take a bath? B: At 12. We should take a bath 90 minutes before going to bed, right? A: Yes. My mother always tells me that it is not good to use smartphones just before going to bed. B: Let's tell him about that too.</p>	
<p>・代表生徒の良いところを伝え合う。</p> <p>・疑問点がある生徒はALTに質問する。</p> <p>・内容や「言いたかったのに言えなかった表現」を確認する。(ペア⇒全体)</p> <p>・意見を再構築する (2分)</p> <p>(4) Activity 4 Speaking 2 (3分)</p> <p>・ペアで伝え合う。会話を録画する。 ⇒感想・意見＋根拠(引用)＋提案</p> <p>中間指導 2 Sharing 2 (5分) ○代表ペアの生徒が発表をする。 ・生徒の意見を全体でシェアする。</p>		<p>●内容面の良いところに触れる。 例) 理由を含めて自分の考えを述べている。 ALTの日常生活について書かれた情報を引用している。</p> <p>●質問した生徒の「相手意識」について考えている良さに触れる。</p> <p>●○「わからなかった表現」は全体で考えるよう支援する。</p> <div><p><予想される生徒の発言></p><p>・最初、どのように始めたらいいかわからない。⇒「悩みを確認しよう」で始める。</p><p>・朝が弱い ⇒ He is not good at getting up early.</p><p>・体を動かすと良い ⇒ It is good to exercise.</p></div> <p>●引用表現を復習する。</p> <div><p>引用する表現</p><p>・According to his message, …….</p><p>・His message told us that …….</p><p>・He says, “ …….”</p><p>・He said that …….</p></div> <p>●Speaking2では、なぜ、そう思うのか、根拠(理由や自分の経験等)を明確にして意見を述べるように指導する。</p> <div><p>Why do you think so? What do you think about his opinion? (根拠を明確にする・引用する) What advice can you give him? Why?</p></div> <p>●○支援の必要な生徒には、机間指導の中で、早めに支援をする。</p> <div><p>再構築を促すための共有</p></div>	
<p>・言いたかったけど言えなかった表現を共有する。</p> <p>(5) Activity 5 Writing (5分) ・ロイロノートを活用し、話したことをもとに、アドバイスを書く。</p>		<p>A: Let's share what his problem is. C: Arthur told us that he can't go to sleep early. Do you have any advice? A: We learned that sleep is very important for our health, right? C: Yes. What time does he go to bed? A: According to his daily life sheet, he goes to bed at 1. But we need to sleep at least 6 hours a day, right? He doesn't sleep enough. C: Yes, I think so too. A: He sleeps only for 5 hours. C: Yes. It's too short. What time does he take a bath? A: According to the sheet, at 12 but the textbook said that we should take a bath 90 minutes before going to bed, right? C: Yes. A: Also my mother always tells me that it is not good to use smartphones before going to bed. I can go to sleep early because I don't use my smartphone before going to bed. C: Then let's tell him about that too.</p> <p>●見取ったよい表現を紹介する。</p> <p>●○仲間から聞いた内容を加えたり、英文を訂正したりするように促す。</p> <div><p><予想される生徒の発言></p><p>・相手の考えをもっと詳しく知りたい時はどう言えばいいのだろう? ⇒Tell me more about your opinion.</p><p>・たくさん油ものを食べすぎると、良い睡眠ができなくなるよ。 ⇒If we eat too much oily food, we will not get good sleep.</p></div> <p>●書き出しと最後は全体で確認をして、板書する。</p> <p>・他者参照もできるようにし、困っている生徒の支援となるようにする。</p> <div><p>Thank you for your video letter. You want to sleep early, right? I think you should sleep more. According to our textbook, we need to sleep at least 6 hours a day. Also you can sleep well if you take a bath 90 minutes before going to bed. If you like to exercise, you can walk or go cycling in the afternoon. My mother often tells me that exercise makes us refreshed. Please try it.</p></div>	
振り 返 り 4 分	5 コメント	●会話の内容のふくらみや、意欲的に話し続けようとする態度を中心に肯定的に評価する。	
	6 振り返り	●これまでの録音を視聴して、自分の学びを振り返るために活用してもよいことを伝える。	
	①めあてに対してできるようになったことは? ②なぜできるようになったのか? ③次に挑戦したいと思うことは?	<p>【引き出したい生徒の振り返り】</p> <p>・ALTの日常生活について触れることで、より伝わりやすいアドバイスができるようになった。</p> <p>・自分の経験や理由も含めて意見を言ったので、説得力のあるアドバイスになった。</p> <p>・ペアがAccording toを使って、色々な情報を引用しながら自分の考えを述べていて説得力があると思ったので、次は自分もそうしたい。</p>	
	7 次時の予告	<p>●次の内容、家庭学習について伝える。</p> <p>・次時も「ALTの悩み」についての解決策をみんなで考えることを伝える。</p>	

(4) 評価基準（ルーブリック）

	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
		引用する	理由とともに述べる	継続する	
a	誤りのない正しい英文で伝え合うことができる	読んだ英文を効果的に引用するなどしている	自分の考えたことや感じたことなどを理由とともに詳しく述べている	相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続している	自分の考えを詳しく述べたり、効果的に引用したり、相手の考えを求めたり話題を広げたりしながら、やり取りしようとしている
b	誤りが一部あるが、伝えたいことに支障がない程度の英文を用いて伝え合うことができる	読んだ英文を引用するなどしている	自分の考えたことや感じたことなどを理由とともに述べている	相手の考えを求めたりしながら対話を継続している	自分の考えを述べたり、読んだ英文を引用したり、相手の考えを求めたりしながらやり取りしようとしている
c	友達や先生のサポートを受けて「b」を満たすことができる	友達や先生のサポートを受けて、「b」を満たしている			友達や先生のサポートを受けて、「b」を満たそうとしている

- (5) 板書計画
- ☐ 疑問詞や語順カード等は生徒が必要な時に見られるよう準備する。

☐ 中間評価の内容は黒板に残して、次の言語活動を高められるものにする。

(Timer)

June 17th
Monday

Goal : 悩んでいるデック先生の友人にアドバイスをするために、友達と意見交換をしよう。

1 1-min Chat

2 Review

3 Small Talk

4 今日の課題

Listening

Thinking

Speaking 1

Sharing 1

Speaking 2

Sharing 2

Writing

5 まとめ

6 振り返り

7 次時の予告

<ふりかえりより>

・引用表現を使って、デック先生の友人が言っていたことを言えた。〈引用表現〉

・デック先生の友人の困っていることを友達にたずねることができた。〈やり取り〉

・理由をたずねることができた。〈やり取り〉

・理由も含めて自分の考えを言うことができた。〈理由・根拠〉

・自分の体験を言うことができた。〈体験〉

Feedback① 内容面 <相手に伝わるように>

・Check his/her problem 確認する

・Tell your opinion 意見を伝える

⇒Why? 根拠・理由←引用表現

←実体験

・Ask questions 相手の考えをたずねる

情報を整理

意見

感想

体験したこと

Feedback② 言語面

<言いたかった表現>

・最初、どのように始めたらいいかわからない。

⇒「悩みを確認しよう」で始める。

・朝が弱い ⇒ He is not good at getting up early.

・体を動かすと良い ⇒ It is good to exercise.

・相手の考えをもっと詳しく知りたい時はどう言えばいいのだろう？

⇒Tell me more about your opinion.

・たくさん油ものを食べすぎると、良い睡眠ができなくなるよ。

⇒If we eat too much oily food, we will not get good sleep.

Speaking 1 <話しはじめ>

What do you think? What problem does he have?

What's his problem? Let's share what problem he has.

<生徒の発話>

A: Arthur can't go to sleep early.

B: Sleep is very important for our health.

A: Yes. What time does he go to bed?

B: Let's look at his daily life. Umm... He goes to bed at 1.

How many hours do we need to sleep?

A: At least six hours a day, right?

B: Right. How many hours does he sleep?

A: 5 hours. It's too short. What time does he take a bath?

B: At 12. We should take a bath 90 minutes before going to bed, right?

A: Yes. My mother always tells me that it is not good to use smartphones just before going to bed.

B: Let's tell him about that too.

Speaking 2 <使いたい表現>

・According to his message, ・He says, “”【引用】

・Why do you think so? 【理由・根拠】

・I'm sure that he'll like it.

・I'm afraid that he doesn't like ~.